

---

# 真機動戦記ガンダムWマギカ

セイバー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真機動戦記ガンダムWマギカ

### 【Nコード】

N0110BA

### 【作者名】

セイバー

### 【あらすじ】

アフターコロニー

A・C211年。地球とコロニーの戦争を止めるために戦うエウゴの戦いの物語。SDガンダムGジェネレーション要素があります。まどか マギカ以外のキャラもたくさん出ます

## 第一話 少女が見た流星

地球から巣立った人類は宇宙コロニー、プラントでの生活に新たな希望を求めていた。しかし、地球連邦軍の内部組織ロコス、テイタインズ、OZを中心とした地球側の軍隊は、正義と平和の名の下に、圧倒的な軍事力をもって各コロニー、プラントを制圧していった。また、それに反目するジオン公国、ザフト、木星帝国、ザンスカール帝国などのコロニー、プラント側の軍隊もまた戦闘を開始した。これにより、戦争が行われていた。A・C211年、作戦名オペレーション・メテオ。戦争を終わらせるために連邦軍が極秘に結成された独立部隊、エウーゴは流星に偽造した新兵器を地球に送り込み、地球の軍事施設を壊滅していく作戦である。しかし、この作戦は、OZの上層部によって知られていった。

OZ基地

OZ兵士1

「ポイントAXからGYにかけて質量の移動を確認。地球権大気圏突入まであと600秒」

CZ兵士2

「一つではないな」

OZ兵士1

「はい。レーダーには五つの金属反応があります」

OZ兵士2

「一応大気圏の平賀才人特尉に知らせておけ。どうせ大昔の人工衛星の破片だろうがな」

OZ兵士1

「了解」

OZの攻撃輸送機。そこにはOZの兵士が数人乗っている。そのう

ちの一人は平賀才人特尉。彼はMS部隊の隊長を勤めており、部下からの信頼も厚い。彼の部隊は、先ほどのOZの監視部隊の報告を受けた。

OZ兵士3

「平賀特尉、隕石落下の報告があります」  
サイト

「ふん。監視衛星の目は節穴だな。隕石が大気圏突入のウェーブコースを通るかっつーの」

OZ兵士3

「では、OZ本部の情報通り……」

サイト

「ああ。M作戦に違いない。だがいったい誰が……。このシャトルで追いつけるのはいくつだ？」

OZ兵士4

「ユーラシア東部に落下すると思われる一つだけです」  
サイト

「一つだけでも十分。軍人は手柄をあせるもんじゃねーな」

OZ兵士3

「ずいぶん表向きな発言ですね」

サイト

「いったら。オレは軍人なんだよ」

そして、地球に近づいている一つの物体。いや、機械といってもいいだろう。その形はシャトルに近いカプセルである。そしてそれに乗っているのは一人の少女である。彼女の名は鹿目まどか。エウーゴのメンバーである。なお、先ほども話した通りエウーゴの存在は地球側、宇宙側にはまだ知られていないのである。

まどか

「各部異常なし。七分で作戦を開始します」

そして、それは地球に降下した。とその時

ピピピピピピピピ（レーダー音）

まどか

「何！？OZの攻撃輸送機！？」

輸送機内

OZ兵士4

「捕捉しました！モニターに移します」

サイトはモニターの映像を見て、

サイト

「やつぱりな。あれが新たな戦を生み出す戦争の卵つてやつか」

OZ兵士3

「ふん、M作戦か」

サイト

「まあ、あちらさんも、隠密行動だからな。オレ達の前では派手な行動はできまい」

まどか

「やつぱ、OZに嗅ぎづけられたみたい・・・」

カプセルはそのまま大気圏に突入した。それに続いてOZの輸送機も大気圏に入った

まどか

「ついに来た・・・。あれが地球なんだ・・・」

まどかの乗るカプセルはスピードを上げ、加速していった。

OZ兵士4

「カプセルがコースを変更しました！」

サイト

「なんだ！？自殺する気か？」

OZ兵士3

「燃え尽きれば秘密も守れる。まあそういったところでしょう」

OZ兵士4

「いえ、カプセルはさらに加速していつています。逃げ切るつもり

でしょうか？」

OZ兵士3

「バカな、あの高温に耐えられるはずがない！」

サイト

「いや、そうでもないぜ。オレ達の敵は高い技術を持っていると見た！」

大気圏に突入したカプセル。まどかはコンピューターを操作し、装甲を外した。その姿は鳥に似た戦闘機である。その戦闘機はものすごいスピードで地球に向かっていった。

OZ兵士4

「平賀特尉、あれは！？」

サイト

「新兵器って、戦闘機だったのかよ！？」

OZ兵士3

「まるで、鳥のような戦闘機ですね」

OZ兵士4

「攻撃可能です」

輸送機のハッチが開いた。

OZ兵士3

「よし、機銃で威嚇してみろ」

サイト

「いや、威嚇が通じる相手じゃないな。撃墜しろ！！」

OZ兵士

「平賀特尉！」

サイト

「新兵器の輸送が目的だと思っていたが、操縦しているのはそれを操縦している戦闘パイロットだ！」

輸送機の機銃が、戦闘機を攻撃するが全て外れた。

まどか

「余裕で逃げ切れる……」

ピピピピ (通信音)

まどか

「任務変更？追尾機はOZのMS輸送機……。スピードからして、三機搭載しているみたい……」

まどかの乗る戦闘機は反転し、輸送機に向かった。

まどか

「任務変更了解。ただちにOZ輸送機を撃墜します」

OZ兵士4

「敵戦闘機、こちらに向かってきています！」

サイト

「リーオーは使えるんだな？」

サイトはドアを開け、格納庫に向かおうとしている。

OZ兵士3

「はい。しかし、MSである戦闘機を？」

サイト

「ああ」

OZ兵士3

「でしたら、陸戦用のリーオーより高速MSのエアリーズがよろしいのでは？」

サイト

「オレのリーオーは十分早い。それに売られたケンカは買わないとな」

輸送機の後部からリーオーが出撃された。

「平賀特尉、エアリーズの準備ができしだい、応援に向かわせます」

サイト

「ああ」

ビーツビーツビーツ (レーダー音)

サイト

「何！？上か！！」

サイトの乗るリーオーは上方向に向かって、ドーバーガンを撃った。

その砲撃は見事に戦闘機に命中した。  
まどか

「左推進システム異常……。このパイロットなかなかやる……。  
戦闘機はみるみる地上に落ちていく。」

OZ兵士3

「お見事です。平賀特尉」

サイト

「なんかあつけないな……。これでいいのか？」

OZ兵士5

「特尉、リーオーは回収しますが、エアリーズで追いますか？」

サイトのリーオーに近付いたエアリーズのパイロットがサイトにこ  
う質問した。

サイト

「とにかく地上で抑えよう。M作戦の真意が知りたいしな」

OZ兵士5

「自爆の可能性は？」

サイト

「折角来た地球だ。一步も大地に足を踏めずに死ねるかよ」

まどかはコクピット内部でレバーを動かした。すると戦闘機らしき  
機体は人型のMSに変形した。そのMSは先ほどの羽は背中に搭載  
され、鳥の頭部らしきものはシールドとなっておりそして手には大  
型のライフルが備わっていた。このMS、ウイングガンダムは先ほ  
どまでの戦闘機形態、バードモードからMS形態に変形する機体で  
ある。

(BGM：思春期を殺した少年の翼)

サイト

「MSに変形したと!？」

OZ兵士3

「平賀特尉、あれはなんという機種ですか!？」

サイト



「わからねえ（地球側と宇宙側以外にもMSを作れたのかよ……）」

OZ兵士5

「特尉、あとはお任せ下さい」

サイト

「頼む」

エアリーズがリーオーの背中に四角い装置を取り付けたあとウイングガンダムに向かっていった。装置からは大型のパラシュートが排出された。ウイングガンダムの後ろから、一機はマシンガン、もう一機はミサイルを発射した。ミサイルがウイングガンダムの背中に命中したが、ウイングガンダムは傷一つ付いていない。

サイト

「あの強度……まさか……」

エアリーズは二機共にマシンガンで攻撃した。そしてウイングガンダムはエアリーズの方向を向いた。

OZ兵士5

「動いた!!」

OZ兵士6

「構わん！撃ちまくれ!!」

ウイングガンダムは大型のライフル、バスターライフルをエアリーズに向けて発射した。

ズドーーーーー

そのビームはエアリーズを二機共破壊するには十分だったためエアリーズは大爆発を起こした。

ドカーーーーーー

まどか

「よし、あと一機!!」

サイト

「たった一撃で、二機のエアリーズを……。面白れえ!!」

リーオーはドーバーガン捨て、パラシュートを外し、ビームサー

ベルを持ってウイングガンダムに向かって落下した。ウイングガンダムは再びバスターライフルを撃ったが、リーオーにはかわされてしまった。そしてリーオーはビームサーベルをウイングガンダムに切りかかろうとしたが、ウイングガンダムはビームサーベルを持つ手の方を掴んだが、リーオーはウイングガンダムにしがみ付いた。サイトはその隙にリーオーから脱出した。っしてしばらく離れた後、リーオーは爆発した。ウイングガンダムの攻撃ではなく自爆である。ウイングガンダムはバードモードになってどこかへ飛んで行った。

OZ兵士3

「平賀特尉、ご無事でしたか？」

サイト

「ああ、心配かけてスマン。オレなりに何とかしたけど……」

OZ兵士3

「戦闘でのデータ分析が終わりました。敵MSの強度からガンダリウム合金製としか考えられません」

サイト

（やはり、あれがガンダム……）

OZ兵士3

「特尉、マリーナの空母が、謎のMS搜索を任せると言っておりますが」

サイト

「しよーがねー。探し物はアジアエリアのどこかに消えたと伝えておけ」

OZ兵士3

「ハッ！！」

サイト

「探索を任せろねえ……。手柄を焦る軍隊にいい未来はないな……」

とあるホール。ここでは1人の青年がサイトの報告を聞いていた。彼の名はウェールズ・テューダ。OZの司令官である。

ウェールズ

「MSを三機も失ったのか？」

サイト

「ハッ、申し上げありません」

ウェールズ

「君ほどの男がとんだ不始末をしたな。地球側のお偉いさんを黙らせるのに一苦労だ」

サイト

「相手はガンダリウム製のMSでした」

ウェールズ

「なんだと？」

サイト

「やはり、あの機体はガンダム？」

ウェールズ

「それ以外考えられない。連邦軍とティターンズがチェックが甘すぎたのだ」

サイト

「その連邦のマリーナがああ機体を搜索しようとしています」

ウェールズ

「それはこちらに任せてもらおう。君には海中探査の特別隊を送るか  
ら後は頼んだぞ」

サイト

「ハッ」

ウェールズ

「分かっていると思うが今は大事の前だ。特にティターンズを刺激する  
ようなマネはしたくない」

サイト

「了解しました」

サイトは通信を切った

議会

ここでは連邦軍、ロゴス、ティターンズ、OZの重役が宇宙側の対策の会議を行っている。そこには当然ウェールズも参加するのである。

ウェールズ

「遅れました」

連邦軍士官1

「ウェールズ特佐、君の部下が大気圏突入の際MSを三機失ったという報告をうけたが？」

ウェールズ

「はい。それが何か？」

レジアス

「貴様はたかが反乱分子の制圧に、三機も無駄にしたのだぞ！」

ウェールズの隣に座るティターンズの指揮官、レジアス・ゲイルが彼の返答に注意をした。

ウェールズ

「その結果、反乱分子の謀反を未然に防ぐことができませんでした  
レジアス

「ワシが言っているのは結果ではない！貴様は軍の貴重な戦力を何だと思っているのだ！！」

ウェールズ

「貴重な戦力……。それは兵に対してでしょうか？それともMSに対してでしょうか？」

ウェールズ

「貴様、ワシを愚弄するのか！！」

連邦軍士官2

「まあまあ。ウェールズ特佐、今後もあることだ。注意するように」  
そして何事もなかったかのように会議が始まった。

ティターンズMS工場

ティターンズは地球出身のエリート軍隊で、スペースノイドやコイデイナーを見下しているものが半数を示している。彼らもOZと同様に、地球側の軍隊である。そして、この工場に黒い影が襲いかかるうとは誰も知らなかった。この工場ではハイザックやマラサイなどのMSを生産している。とその時

ドーーーーーン

突如工場から大爆発が起きた。

ティターンズ兵士

「何だ、敵襲か!？」

と切り裂かれたハイザックのパイロットは乗機と共に運命と共にした。それに続いてジム・クウエルも切られ、工場の動力源らしきものも襲撃者の手によって破壊された。その襲撃者の姿はビームの刃の大鎌を持った黒い死神に似たMSだ。このMSの名はガンダムデスサイズ。そのパイロットは黒いロングヘアの美少女、暁美ほむらほむら

「こちら、プリベンダーギルティ。メインモーター破壊任務終了。あとは撤収の際にティターンズのMSを切りまくる」

ザフトドーバー基地

この基地はコイデイナーによって組まれた宇宙側の軍隊ザフトの所有地である。この基地もまた赤いMSの襲撃を受けた。その襲撃者の相手はザフトの量産型MSジンを始め、獣型のMSバクウ、重武装のMSザウートである。

ザフト兵士

「こちらドーバー基地。現在、敵の奇襲にあっています!」

ザフト士官

「奇襲だと！？どこの軍隊だ！？」

ザフト兵士

「わかりませんー！！」

その襲撃者、ガンダムヘビーアームズはガトリングをザフトのMS部隊に向けて撃った。そのパイロットは金色のドリルカールの少女、  
巴マミ。

マミ

「発見された以上は見逃せないわ。スペースポートの破壊が目的だったけど全てを消滅させるわよ」

するとガンダムヘビーアームズは腕だけではなく、胸部の二門のガトリングを同時に放った。

マミ

「ティロ・ファイナーレー！！」

ドリーーーーーー

ヘビーアームズはさらに肩と足に内蔵されたミサイルを撃ち、ザフトの基地を壊滅させた。

マミ

「戦闘記録001、記録者名プリベンダーバーストとでも名乗っておこうかしら」

オデッサ

ここには、ジオン公国のMSザクの部隊がいた。彼らもOZのように落下したカプセルの調査に向かったのである。しかし、彼らは知らなかった。そのカプセルが自分達に災いを起こし、自分達を倒すものであるとは……。

ジオン隊長

「このあたりなんだな？謎のカプセルが落下したのは」

ジオン兵士

「はい」

ジオン隊長

「なにもないではないか」

とその時

カラバ兵

「やれっ!!」

ドゴーーーーー

ジオン隊長

「どうした、何事だ!？」

ジオン兵士

「て、敵襲、敵襲!!」

レジスタンス組織、カラバの乗るマグアナック隊の一斉射撃がザクに命中し、隊長機以外のほとんどが破壊された。

ジオン隊長

「囲まれていた……、なぜだ!？」

ジオン兵士

「隊長!!」

ジオン隊長

「ん?何!？」

隊長機と部下の前にはマグアナック隊とその中心に大型の剣を背負ったガンダムサンドロックが立ちふさがった。

さやか

「武器を捨てて投降しなさい。命までは奪おうとは言わない」

青いショートヘアのガンダムサンドロックのパイロット美樹さやかはジオンの生き残った兵に投降を勧めるが……。

ジオン隊長

「撃て、撃てええええ!!」

その二機ザクは投降をせず、ガンダムサンドロックにマシンガンを放った。ガンダムサンドロックは弾丸を避け、二機のザクにヒートショーテルを切りつけた。切られたザクは大爆発を起こした。

さやか

「こちらプリベンダーガイア、隊長機を破壊しました。いったわよ、

あたしは投降しろって……」

とある海上

その区域にあるロゴスのイージス艦もガンダムの襲撃を受けていた。そのガンダムは左腕に円形の盾を持っており、背に長刀、さらに特徴的なのは龍のような右腕である。そのガンダムの名はシエンロンガンダム。その名にふさわしい装備、ドラゴンハングでロゴスのイージス艦を撃墜し、向かってくるVTOL戦闘機もドラゴンハングに内蔵されている火炎放射によって焼き払われた。

杏子

「あたしはプリベンダードラゴン。逃げも隠れもしねえ。どっからでもかかってきな」

赤いポニーテールのシエンロンガンダムのパイロットの佐倉杏子はアンパンを食べながらこう言った。

輸送機内部

OZ兵士3

「海中捜査隊はまだなのか？」

OZ兵士4

「あと二時間で到着するといっています」

OZ兵士3

「何をのんびりやっている!」

サイト

「そうあわてなさんな。こここの海溝は深い。マリーナの空母も捜索には時間がかかるみたいだしな」

OZ兵士3

「しかし」

サイト

「それより面白いモンを見せてやるよ」



サイトは兵士に数枚の写真を見せた。その写真にはシェンロンガンダムが写っていた。

OZ兵士3

「これは・・・？」

サイト

「OZの偵察機が撮影したものだ。どうだ、さっきオレ達が戦った機種と似てるだろ？」

OZ兵士3

「では、あの機種が二機も？」

サイト

「いやそれだけじゃないらしい。ザフトのスペースポート、ティターンズのMS工場、そしてオレ達と同じようにカプセル調査に向かったジオンの部隊が壊滅されたらしい」

OZ兵士3

「では、四機も・・・」

サイト

「あのMSも含めれば五機だ」

OZ兵士3

「五機、五機のガンダム・・・」

サイト

「オレ達は運がいい。ガンダムを目撃して生きていられたんだからな・・・」

とあるジャングル

まどか

「よかつた〜。目立った外傷はなくて」

まどかはウイングガンダムから降りると、ウイングガンダムの状態を確認した。どうやら内部には異常は見られないようだ。

まどか

「こちらプリベンダーへヴン。OZのMS輸送機は破壊できませんでしたがOZのMSは破壊できました」

まどかは通信機を使って連絡をする。そしてしばらくすると通信を切り、あたりを探索した。

まどか

「確かこのあたりはティターンズのMS工場だったよね・・・」  
まどかはあたりを見回すとティターンズの工場があると思われる区域だということを確認した。そして、夜空を見上げると一つの流れ星が見えた。そして、それはすぐに消えていった。

まどか

「あゝあ。願い事できなかつたよ」

地球側にも宇宙側にも属さない五機のガンダム。果たして彼女達の目的とは・・・？

## 第一話 少女が見た流星（後書き）

真機動戦記ガンダムW マギカ MSファイル

ウイングガンダム

パイロット：鹿目まどか

登場作品：新機動戦記ガンダムW

鳥のような航空機（バード形態）に変形する可変ガンダムタイプMS。ウイングガンダムゼロの開発スタッフの1人であるドクターJが、ゼロの設計データを元に故郷のL1コロニー群にて完成させた機体。地球圏統一連合に対する一大テロ作戦「オペレーション・メテオ」発動と同時に地球に降下した。本機は原型機ウイングゼロの設計思想を最も強く受け継いだ機体であり「1」、その外見や高速飛行形態「バード形態」への変形機構を初め、ゼロを模倣した機能と装備を持つ汎用性の高いMS。機動性の大半は、バックパックに接続された一対のウイングユニットに集約されている。ウイングゼロのツインバスターライフルを基に開発された携帯ビーム砲バスターライフルをメインとした機体。原作のパイロットは主人公ヒイロ・ユイが務める。今作では主人公鹿目まどかの機体として登場。

真機動戦記ガンダムW マギカキャラクターファイル

鹿目まどか

CV：悠木碧（代表作おねがいマイメロディシリーズ夢野琴役、ポケットモンスターベストウィッシュユアイリス役、Aチャンネルユウキ役）

登場先品：魔法少女まどか マギカ

見滝原中学校に通う中学2年生の少女で、クラスでは保健委員を務めている。心優しく友達思いだが、自分を何の取り柄もない人間だと考えており、「誰かの役に立てるようにになりたい」という夢を抱いている。その平々凡々な人格とは裏腹に、魔法少女としては途方

もない素質を持っており、執拗にキュウベえから契約を迫られることになる。最終的に、「希望を抱くこと自体が間違いであるはずがない」という信念の元、魔法少女の悲劇を終わらせるためにキュウベえとの契約を決意し、「過去、現在、未来、全宇宙に存在する全ての魔女を生まれる前に自分の手で消し去ること」「願いによって、未来永劫魔女を生み出さないための概念として昇華する。その際に、親友の暁美ほむらに自分のリボンを授けた。今作ではエウーゴの部隊の一つプリベンダーに所属する。コードネームはプリベンダーヘヴン。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0110ba/>

---

真機動戦記ガンダムWマギカ

2011年12月31日04時46分発行